

- 問1 11世紀半ば、摂政を務めた藤原頼通が宇治に建立した建築物を選びなさい。この建物は、当時の貴族の間に広まった、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰に基づき、阿弥陀如来像が安置されていることで知られています。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 平等院鳳凰堂 2. 東大寺南大門 3. 法隆寺五重塔 4. 中尊寺金色堂
- 問2 院政が行われていた時期、有力な寺院は広大な荘園を領有し、経済力を背景に独自の武力を持つようになりました。当時の有力者が「思い通りにならないもの」の一つとして挙げた、この武装した集団の名称と、その活動内容の説明として正しいものを次の中から選びなさい。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. 「悪党」と呼ばれ、幕府の支配に従わずに荘園領主の年貢納入を妨げるなど、社会秩序を乱す行動をとった。 2. 「僧兵」と呼ばれ、延暦寺などの大寺院を拠点に、神木や神輿を担いで朝廷に無理な要求を突きつける「強訴」を行った。 3. 「足軽」と呼ばれ、特定の拠点は持たず、集団で行動して戦場での放火や略奪を主な活動とした。 4. 「武士」と呼ばれ、上皇の身辺を警護する「北面の武士」として組織され、朝廷の軍勢力を支えた。
- 問3 日本列島の東北地方（現在の岩手県付近）に位置し、2011年に世界文化遺産に登録された歴史的遺産があります。平安時代後期、前九年合戦や後三年合戦といった戦乱で亡くなった人々を供養するために奥州藤原氏が建立した、内部が金箔で装飾された阿弥陀堂（金色堂）を含む寺院群を何といいますか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
1. 平泉（中尊寺金色堂） 2. 日光の社寺 3. 厳島神社 4. 法隆寺
- 問4 藤原道長や藤原頼通の時代に全盛を迎えた「摂関政治」において、藤原氏が長期間にわたって高い地位と政治権力を維持できた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 摂政は京都の朝廷内で貴族を監視し、地方の国司を監督して税の徴収を直接管理した。 2. 自分の娘を天皇の後とし、その子供を次の天皇に立てることで、天皇の母方の親戚である「外戚」の立場を得たから 3. 遣唐使を廃止して国風文化を奨励し、仏教の力を借りて国民の支持を背景に権力を確立したから 4. 天皇が退位した後に「上皇」として政治の実権を握る仕組みを整え、独自の役所を設けたから
- 問5 平安時代の政治において、藤原氏による摂関政治が全盛期を迎えていた時期の社会背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この時期には、1053年に建立された平等院鳳凰堂に代表されるような、極楽浄土を願う信仰も広まりました。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
1. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が東国を中心に広まった。 2. 遣唐使を通じて唐の進んだ制度や仏教文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな文化が形成された。 3. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの簡素な美しさを尊ぶ文化が形成された。 4. 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。
- 問6 藤原氏が政治を行う上で重要な地位となった「摂政」と「関白」の役割の違いについて、正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 摂政は京都の朝廷内で貴族を監視し、関白は地方の国司を監督して税の徴収を直接管理した。 2. 摂政は天皇が幼少であったり女性であったりする場合に代わって政務を行い、関白は成人した天皇を補佐して政務を執り行った。 3. 摂政は天皇の父が引退した後に就く役職であり、関白は天皇の兄が就く役職であった。 4. 摂政は主に儀式や宗教的な行事を取り仕切り、関白は軍事指揮官として全国の武士を統率した。
- 問7 歴史博物館の展示において、日本の原始・古代の締めくくりとして紹介される重要な出来事に「794年の遷都」があります。奈良の平城京から都を移し、現在の京都市にあたる平安京を築いた天皇は誰ですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 桓武天皇 2. 天智天皇 3. 推古天皇 4. 聖武天皇
- 問8 遣唐使の派遣が停止されたことで、それまで取り入れてきた中国大陆の文化を日本の風土や感性に合わせ、消化・吸収する動きが強まりました。この時期に成立した、日本独自の特色を持つ文化を何と呼びますか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 天平文化 2. 国風文化 3. 鎌倉文化 4. 弘仁・貞観文化
- 問9 藤原道長が活躍した平安時代中期には、社会不安を背景に「念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わる」という考え方が貴族から民衆にまで広まりました。この信仰を何といいますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 禅宗 2. 浄土信仰 3. 法華信仰 4. 本地垂迹
- 問10 平安時代中期には、紫式部が執筆した『源氏物語』や、清少納言が記した『枕草子』など、優れた女流文学が数多く生まれました。このような文化が発展した理由や背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 宋との貿易を通じて新しい印刷技術が導入され、宮廷の女性たちが書いた物語が一般の庶民にも広く普及したため。 2. 仏教の教えが民衆に広まったことで、現世の不浄を説く物語や、死後の世界を詳しく描く文学作品への関心が高まったため。 3. 遣唐使の停止をきっかけに日本独自の生活様式や感性が重視されるようになり、日本語の音を自由に表現できる「かな文字」が広まったため。 4. 武士が政治の実権を握り始めたことで、貴族階級の特権を批判し、新しい社会のあり方を提示する文学が求められたため。
- 問11 平安時代の社会情勢をまとめた記録において、地方で荘園の整理や拡大が進み、貴族の邸宅で寝殿造が流行していた時期に成立した作品として正しいものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 清少納言が記した『枕草子』 2. 山上憶良らが詠んだ歌を収めた『万葉集』 3. 鴨長明が乱世の無常を記した『方丈記』 4. 菅原道真が遣唐使の廃止を提案した際の『建義文』
- 問12 摂関政治が全盛期を迎えた時期の社会や文化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 大陸から伝わった仏教を政治に取り入れるため、聖武天皇が国ごとに国分寺や国分尼寺を建てた。 2. 藤原頼通が、極楽浄土を地上に再現しようと思い、宇治に平等院鳳凰堂を建立した。 3. 北条時宗が、大陸から襲来した元軍に備えるために、九州の博多湾沿岸に防塁を築かせた。 4. 武田信玄などの戦国大名が、自分の領国を独自に支配するために「分国法」を定めた。
- 問13 京都の宇治にある平等院鳳凰堂は、藤原頼通によって造営された阿弥陀堂であり、極楽浄土の様子を表現した優美な建築様式で知られている。この建物がつくられた時期の政治の特徴として、最も適切なものはどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 征夷大將軍が、御家人と御恩と奉公の関係を結んで政治を行った 2. 天皇が幼いときは摂政、成人後は関白として実権を握った 3. 天皇の位を譲った上皇が、院庁を開いて政治を行った 4. 天皇中心の国づくりを目指し、公地公民制を導入した